

氏名（団体名）：

管理項目	主な対象病害虫等	管理ポイント	配点	チェック欄 チェック欄に○印を記入	
				今年度の実 施目標	今年度の実 施状況
1 予防的措置（病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備）					
間伐、縮伐、整枝、せん定	病害虫全般	間伐、縮伐、整枝又はせん定により園地や樹冠内部の通風・採光を良好にし、防除作業の効率化及び薬剤散布時の散布むらの解消を図る。	1		
健全な苗木の利用	病害虫全般	新植及び改植時には、健全な苗木を使用する。	1		
発生源・伝染源の除去	病害虫全般	病害虫の発生部位（休眠枝等）やせん定枝、抜根した樹等は園地外へ搬出し適切に処分する。	1		
園地・樹冠下の下草管理	病害虫全般	機械除草、マルチによる抑草など適切に下草を管理する。	1		
施肥	病害虫全般	樹勢を良好に保つため、土壌診断結果や樹の生育状況を踏まえた適切な施肥管理を行う。	1		
排水対策	病害虫全般	各園地に合わせて排水対策を徹底する。	1		
越冬病害虫の密度の低減	病害虫全般	越冬病害虫の密度を低くするため、休眠期防除を確実に実施する。	1		
2 判断（防除要否及びタイミングの判断）					
園地周辺の観察	病害虫全般	園地周辺における放任園の有無や、園地及びその周辺に発生する病害虫を把握する。	1		
習慣的な観察の実施	病害虫全般	定期的に園内を見回り、病害虫の発生状況を観察・確認する。	1		
気象情報の活用	病害虫全般	常に気象情報を把握し、適期に防除を実施する。	1		
指導機関の防除指導	病害虫全般	J Aなどの指導機関の指導に基づき適期に防除を実施する。地域一斉の農薬散布に努める。	1		
病害虫発生予察情報の確認	病害虫全般	病害虫防除所等が発表する発生予察情報等を入手し、適期防除を実施する。	1		
3 防除（多様な手法による防除）					
【耕種的防除・物理的防除】					
果実への袋かけ	病害虫全般	農薬散布後、速やかに袋かけを実施する。	1		
被害部位の除去	病害虫全般	発病枝、発病葉及び発病果実 は 速やかに除去し、園外に搬出するなど適切に処分する。生育期間を通じて実施する。	1		
残渣の処理	病害虫全般	落果果実や腐敗果実は、土壌中に埋めるなど、適切に処分する。	1		
新梢管理	病害虫全般	薬液が葉裏にも十分付着するよう新梢管理を行い、丁寧に散布する。	1		
【生物的防除】					
交信かく乱剤の使用	モモハモグリガ、シンクイムシ類等	交信かく乱剤による密度抑制を図る。	1		
土着天敵の利用	害虫全般	土着天敵を活用するため、合成ピレスロイド剤など天敵に影響の大きい薬剤を多用しない。	1		
【化学的防除】					
薬剤のローテーション使用	病害虫全般	薬剤抵抗性の発達を防止するため、同一系統の農薬の連続使用を避け、異なる系統の農薬によるローテーション散布を行う。	1		
適正な散布方法	病害虫全般	作物の生育にあわせ、十分な効果が得られる範囲で農薬の適切な散布量・方法を選択し散布する。	1		
合計点数（20点中）					